



Press Release

令和 8 年 10 月 8 日

今年もタイから未来のエンジニア **24 名** が来日 秋田高専で 1 か月の研修スタート

秋田工業高等専門学校（校長：坂下鈴鹿）は、令和 8 年 10 月 5 日（月）から 10 月 29 日（木）までの期間、※タイ高専（KOSEN-KMITL）の学生 24 名と引率教員 2 名を受け入れ、1 ヶ月間の短期研修プログラムを開始しました。

本研修は、日本政府がタイとの協力のもとで推進する「※タイ高専プロジェクト（円借款事業）」の一環として実施されるもので、タイの学生が日本の高専における実践的な教育を体験し、グローバルに活躍できるエンジニアの育成を目的としています。

本プログラムでは、タイ高専の学生が秋田高専において、電気・電子・情報系を中心とした**プロジェクト研究や学生実験**に取り組みます。さらに、他分野の実験・実習、本校学生との異文化交流への参加を通じて、幅広い知識と経験を深めます。加えて、秋田県内企業の工場見学も実施し、実社会における技術の活用について理解を深める機会を提供します。



オープニングセレモニーの様子（10 月 5 日）

研修の主なプログラム

オープニングセレモニー&ウェルカムパーティー（10 月 5 日）
研修の始まりを祝し、参加者間の交流を深めます。

専門科目および実習

「電気情報基礎実験」「コンピュータ基礎」「3D CAD」「エネルギー変換工学」「資源循環工学実習」「プロジェクトワーク、デイリーレポート」

企業見学

TDK 株式会社本荘東サイト、ミネベアミツミ株式会社秋田事業所、エイブリック株式会社といった日本の先進企業を訪問し、最先端の技術と現場のモノづくりに触れます。

学内交流イベント

毎週火曜日の放課後に、本校学生との文化交流イベントを実施します。書道や茶道などの体験を通じて、日本の伝統文化に触れながら国際交流を深めます。
秋田高専の高専祭（10 月 24 日、10 月 25 日）に自由参加することで、活発な交流が期待されます。

報告会、修了式、お別れ会（10 月 29 日）

研修の成果を発表し、校内修了式および機構修了式で修了証が授与された後、フェアウェルパーティーで 1 ヶ月間の思い出を振り返ります。

秋田高専は、本研修を通じて、参加学生が日本の技術と文化を深く理解し、将来的に国際社会で活躍するエンジニアとしての基礎を築くことを期待しています。また、本校学生にとっても、異文化理解を深め、国際的な視野を広げる貴重な機会となります。

本件についてご質問や取材のご要望がありましたら、お気軽に下記担当まで、お問い合わせください。
（※注釈については、裏面にて解説しております。）

【報道機関からのお問い合わせ先】

秋田工業高等専門学校 学生課学生支援係

TEL 018-847-6020 E-mail : kokusai@akita-nct.ac.jp

HP : <https://www.akita-nct.ac.jp/>

以下、前頁の注釈解説

■ タイ高専プロジェクト

「日本型高等専門学校教育制度（KOSEN）」を本格的に導入したタイ王国初の高専（KOSEN-KMITL）が令和元年5月に、2校目の高専（KOSEN KMUTT）が令和2年6月に、それぞれ開校しました。

これらタイ高専では、産業政策「タイランド 4.0」で示される産業を支える実践的で革新的な技術者を育成しています。（独）国立高等専門学校機構は、タイ高専の教育を支援するため、日本の高専教員を派遣し、現地のタイ人教員への指導・研修を行っています。また、日本の高専をプロジェクト推進校として、日本への学生受け入れや教材作成などの支援も行っています。

【タイ高専のプロジェクト推進校】

苫小牧高専、八戸高専、仙台高専、秋田高専、鶴岡高専、長野高専、明石高専、松江高専、阿南高専、新居浜高専、熊本高専

■ KOSEN-KMITL

タイの大学である KMITL（King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang; モンクット王工科大学ラカバン校）に設立された高専部門です。現在、メカトロニクス学科、コンピュータ学科、電気電子工学科の3学科があり、約490名の学生が在籍しています。キャンパスは、バンコク郊外にあるスワンナプーム空港のすぐ北側に位置します。

昨年の4月から、本校の野澤正和教員が KMITL に派遣され、日本の高専教育の普及に取り組んでいます。